防犯・交通・選挙など
善慶寺で話し合いの会開く

一月二十二日善慶寺原公会堂で、防犯・交通・公明選挙などについて、「話し合いの会」がもたれました。

この会は、富岡警察署と町の選挙管理委員会が、同地区の婦人を対象として開いたもので、七十名が出席しました。

話し合いは、警察署の係員から「防犯心得」や「交通事故防止」の話しを中心にすすめられ、そのなかに公明選挙の話しもはさんで、なごやかに行なわれました。

町でも、いろいろの犯罪や青少年の不良化の防止、防犯思想の高揚を目的に、昨年末に防犯委員会を結成しました。

しかし犯罪の防止は、警察や防犯委員会がいくら本気になっても、私たちみんなが心をあわせて、協力しなければ効果はありません。この種の「話し合いの会」を数多く開いて、明るい社会をつくるよう心がけたいものです。

上は話し合いのようす

▼防犯心得▲

- ● 現金や貴重品を持ちあるくときは、手さげや風呂敷に入れず、しっかり身につけましょう。
- ● 自動車から離れるときはちょっとの間でも現金や貴重品は、置かないようにしましょう。
- ● バイクや自転車を置くときは、いつでもしっかり「カギ」をかけましょう。
- ● 寝るときや「るす」にするときは、しっかり戸締まりをし、でかけるときは、となりに「るす」を頼みましょう
- ● うまい話、もうかる話は危険です。まゆにつばをつけて、もう一度考えなおしましょう。
- ● 暗い夜道の一人歩きは危険です。明るいところを歩くか、連れを求めて歩きましょう。
- ● 「おどし」「たかり」「ゆすり」などのめいわく行為は、被害者の「泣きねいり」や周囲の人の「無関心が」、かえってかれらを増長させるのです。勇気をもってすぐ警察へ届けましょう。
- ● 押し売りは、「買わない」ことが第一です。となり近所と力を合わせて撃退しましょう。有線放送で連絡し合うのもよい方法です。

賢い母親めざして
活動する若妻会（新屋）

新屋婦人協力会（会員五九〇名、森会平きぬ長）の中に、若いおかあさんたちの集り「若妻会」（会員二六二名）、織田沢きよの会長）が誕生してから、三年になります。

家庭の主婦として、料理やつけものの講習会、家計の研究、母親としての教養を身につける研修会、子どもたちを健全に育成するための「話し合いの会」、自分たちの税金がどのように使われているかを勉強するために、町の議会を傍聴したりして、その活動は広範囲にわたっております。

いそがしい家の仕事の合い間をぬっての集会だけになかなか会員の人たちは集まりにくい悩みがありますが、新しい時代に生きる婦人としての自覚をもつために、みんないっしょうけんめい努力しています。

最近の婦人の地位、母親の地位というものは、戦前とくらべ、たいへんな変わりかたをしています。

とくに農村における婦人の地位は、妻のつとめ、母のつとめ、そのうえに経営者としてのつとめというものまでもつことを要求されています。

そして、そのうえに又、地域社会のために働かなければならないというように女の人はいままでと同じような気持ちでいては、とてもやってはいけません。

まず自分の家、自分の子ども、自分の周囲のものという、ごく近いものの生活をよくするためにも、家庭のあるところの社会をよくしてゆかなければなりません。

なぜなら、地域社会における婦人の問題は、家庭のあり方と切りはなして考えることができないからです。

それだけに、それらの問題について、むしろ地域において、あらゆる生活の中からにじみでる問題が、そこからおこり、そこから解決のための活動が発展していくことは、農村婦人の大きなはげみにもなるわけです。

又、私たちの生活が一年一年安定してくると、お互いがお互いの生活をより健やかに、豊かになるように積極的に協力しあえるようなふん囲気がかたまり、お互いが集まって話し合いをもつということが、ますますたいせつになってくるわけです。

一人で考えるより、大勢でいっしょに考えたほうがよい知恵も生まれ、ときには能率的でありますし、また「話し合い」という民主的なしくみの中で、私たちが磨かれあうということは私たちが民主的な人間に育つことにもなります。

そんな意味からも「若妻会」が若いおかあさんの集まりとして、すくすくと伸びてゆくことが期待されます。

夜なかにスケート場の水まき
内藤寛さん

大字福島の内藤寛さん（酒店主・四十才）は、いそがしい家業の合い間をぬって福島小学校のスケート場の整備につとめ、父兄や先生、児童から感謝されています。

このスケート場は、三年前内藤さんらのはたらきかけでPTAの奉仕によってつくられたもので、長さ三十メートル、幅十メートルの周囲に土を盛り上げた簡易なものです。このときから内藤さんのスケート場整備がはじめられ、家業の合い間をみては地面のでこぼこをなおしたり、ほうきではいたり、また私たちの寝しずまる夜の十一時～十二時のくらやみの中で、こごえる手をふきふき、配水するなど、超人的努力が続けられています。

おかげで、児童たちは冬の間毎日スケートを楽しむことができ、大よろこびです。

これについて昨年四月、PTAと学校長の連名で感謝状が贈られています。

左はきれいに整備されたスケート場

内藤さんの話　三年前、道ばたの氷の上で無心にスケートを楽しんでいる子どもたちをみたとき、どこか適当な場所にスケート場をつくってやりたいと考え、PTAの役員や先生方に相談して、いまの場所に作ったのです。コンクリートでつくればほんとうによいのだが……。

高橋時松校長の話　体育主任がときには手入れをすることもありますが、ほとんど内藤さんが一人でやってくれています。毎晩寒いのに感心な人です。先生も児童も、ほんとうに感謝しています。

学校に竹ぼうきを寄付
国峰の老人たちがつくって

国峯長寿会（中条鶴吉会長・会員七十六名）の老人たちは、一月二十八日に竹ぼうきとぞうきんをつくり、役場と小幡小と第二中へ寄付しました。この長寿会は、国峰の六十才以上の老人が集まってつくられた会で、月一回ぐらい集まっては「話し合いの会」や「読書会」、レクレーションなどを楽しんでおり、国峰分校の清掃やこわれた「へい」などを修理したこともありました。

こんど寄付した竹ぼうきは八十本、ぞうきんは七十四枚で材料は会員たちが持ちよってつくったものです。

右はほうきをつくる会員たち

三中が県表彰
保健体育の優良校として

第三中学校（岩井正元校長）が保健体育の優良校として県の体育研究会から表彰されました。

生徒と先生が一体となって保健体育の浸透をはかり、よくその精神をいかして環境の美化につとめるなど、積極的な学習活動が認められたものです。

那須分校に岩石園

秋畑小学校那須分校（鬼形俊一主任）では、昨年十二月校庭の一隅に三・一平方米の岩石園をつくりました。

この岩石園は、分校の六人の先生が雄川、鏑川などから採集した名石と、栃木、新潟などの近県から取寄せた堆積岩、変成岩、火成岩など二四種類の石でかこみ、まんなかに池と噴水を配した写真のようなみごとなものです。

また、この岩石園をつくる資金は、昨年の夏同校PTAのみなさんが、国有林の下刈りを行なつて得たもので、名実ともに先生と父兄の汗の結晶によつて造られました。

石や庭園に趣味をお持ちの方は、ぜひ一度ごらんください。

たすけあい運動の成果
ご協力を感謝します

歳末たすけあい運動は、みなさんのあたたかいご協力のおかげで、お金が八六、六四八円、衣類などが二一一点寄せられました。

町の社会福祉協議会では、会からも十万円出して、さっそく次の割合で配分いたしました。

▽　生活保護受給家庭と要保護家庭一七二世帯に対して、それぞれ千三百円

△　施設や長期入院者四一名に対し、それぞれ八百円

なお、この運動の協力者は次のとおりです。（敬称略）

お金の部

◇個人【小幡】五千円・茂原嘉久外茂、三千三百円・後藤芳男、五百円・中島秀雄、柴田きよ、千円・桑原木十郎、【秋畑】八百円・黛賢二【福島】千円・堀口雄隆【金井】千円・斉藤八郎、厳良勝

◇団体＝一万六百十五円・群和会婦人部、二千六百円・町議会議員一同、七千二百円・役場職員一同　二千七百円・民生児童委員一同、三千二十円・一区、三千八百円・二区千八百六十円・三区、二千九百八十円・四区、千二百二十円・五区、二千百円・六区、三千七百円・七区、三百四十円・八区、二千円・九区、二千百七十円・十区、二千三百九十五円・十一区、千五百八十円・十二区、五百二十円・十三区、五百円・十四区、二千円・十五区、千円・十六区千百八十円・十七区、千円・十八区、千円・十九区、千七百七十円・二十区、千二百三十円・二十一区、千九百二十円・二十二区、千三百円・二十三区、千八百八十円・二十四区、二千円・二十五区、三千七十円・二十六区、千四百四十円・二十七区、千三百六十円・二十八区、

衣類の部

◇個人＝【小幡】四二点・柴田きよ、七点・野口宗三郎、二点・富岡よし・松浦まや・田中田鶴子【福島】二六点青木一雄、十点・茂原秀雄、八点・青木角三郎、園田澄江、七点・神沢豊次郎、六点・八木喜一、五点・篠原貞夫、三点・大山吉造、高橋亀雄、佐藤良太郎、二点・篠原貞夫、吉田文作、山口和助、一点・高橋佐平、茂原富次郎、荒尾階一、山田吉夫、金田源三、吉田次雄、橘栄朔、根本義一、友松三郎

【白倉】十二点・無名、七点・山田昇、大類徳治、二点・大類時治、一点・野口春雄、落合恒市、

◇団体＝二四点・二十六区一同

その他

◇くつ五足・園田利て（福島）

定例行政相談は毎月五日（後一時～四時）に役場で行なわれます。

二月の生活

◆健康に注意して

例年二月ごろは、流行性感冒がはやりがちです。

予防注射も普及して行なわれるようになりましたが、まず家庭生活を規律的に、ウガイを励行することがたいせつです。

△つとめて戸外へ

冬の暖房は、体質変化をおこしやすいといわれます。自然はうまくできていて、冬の寒さ、夏の暑さによって人間の皮膚や血管を適当に訓練してくれています。ところが夏の冷房と同じく冬の暖房は、この自然のきまりに反しているのです。そのために、人間が温室育ちの植物のようにひよわな体質になってしまうということです。とくに高血圧や心臓に異常のない人はつとめて戸外の生活をこころがけてほしいものです。

ヘルメットをかぶつて下さい。

自動二輪車（軽二輪車・バイクを含む）にのる人はかならずヘルメットをかぶつて「いのち」を守りましょう。

訂正記事

一月の本紙に「時代の見方」の文中にある「特に、軍人が政治をほしいままにした…」のなかの軍人という意味は「軍の一部上層部の人びと」という意味だつたのですが、言葉がたりなかつたために誤解をまねくおそれがあるので訂正します。

厳教育長の話　「時代の見方」の文中にある「特に、軍人が政治をほしいままにした…」のなかの軍人という意味は「軍の一部上層部の人びと」という意味だつたのですが、言葉がたりなかつたために誤解をまねくおそれがあるので訂正します。